

## 平成27年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成26年8月11日

上場取引所 東

上場会社名 アプライド株式会社

コード番号 3020 URL <http://www.applied-g.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 岡 義治

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経営企画部長 (氏名) 坂井 雅実

TEL 092-481-7801

四半期報告書提出予定日 平成26年8月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	5,983	1.3	75	137.6	77	459.1	43	331.4
26年3月期第1四半期	6,060	10.6	31		13		10	

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 36百万円 (160.8%) 26年3月期第1四半期 14百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	34.58	
26年3月期第1四半期	8.10	

## (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%		%
27年3月期第1四半期	10,833		3,131			28.3
26年3月期	12,180		3,159			25.3

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 3,066百万円 26年3月期 3,087百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期		30.00		50.00	80.00
27年3月期					
27年3月期(予想)		30.00		30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成27年 3月期の連結業績予想(平成26年 4月 1日～平成27年 3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	12,320	1.1	40	471.4	50	900.0	26		20.62
通期	26,010	6.2	225	13.5	230	10.2	116	9.4	92.01

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年3月期1Q	1,351,600 株	26年3月期	1,351,600 株
----------	-------------	--------	-------------

期末自己株式数

27年3月期1Q	82,641 株	26年3月期	82,641 株
----------	----------	--------	----------

期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期1Q	1,268,959 株	26年3月期1Q	1,255,202 株
----------	-------------	----------	-------------

#### 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境については改善基調で推移していますが、消費税増税後における消費の落ち込みや原油価格の高騰、新興国の経済成長鈍化もあり、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループは、ハードとサービスを組み合わせた新たな商品や仕組みを販売の中心に据えることで、顧客の囲い込みと利益の創出を行い、専門店の強みをさらに活かせる体制を構築いたしました。

店舗展開におきましては、パソコン専門店「アプライド」26店舗、テレビゲーム専門店「シータショップ」13店舗、化粧品・雑貨専門店「ハウズ」3店舗を運営し、それぞれの専門店としての差別化を推進いたしました。特にパソコン専門店「アプライド」では、変化する顧客のニーズに対応すべく、会員制サポートシステムを主体としたサービスの提供により、顧客の囲い込みを実現するとともに、社員一人当たりの生産性の向上と運営システムの強化に取り組みしました。

大学、官公庁向けの販売を主体とするS I営業では、営業拠点の拡充および需要の高い大都市圏に人員の増強を行い、ソリューション営業の徹底による、高付加価値商品の販売とテクニカルサービスの充実を推進いたしました。

卸販売を中心とした特機営業では、首都圏における人員を大幅に増員し、商材調達と販路開拓を強力に推し進めました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間による売上高は59億83百万円、利益面におきましては、経常利益は77百万円、四半期純利益は43百万円となりました。

セグメント別の売上高は次の通りです。

- ① パソコン・ゲーム事業は、専門店として、新システム・新サービスの導入、法人顧客部門の大幅拡充及びテクニカルサービスの総合的提供を重点項目として取り組み、他社との差別化を図り、顧客の開拓を業績の向上に結び付けることにより、売上高は58億9百万円となりました。
- ② 化粧品・雑貨事業は、プライベートブランド製品や差別化商品を中心とした品揃えの見直しを行い、店舗販売を強化することにより、売上高は80百万円となりました。
- ③ 出版・広告事業は、販促全般に関するメディアビジネスを展開し、紙媒体・デジタルメディア・イベントを融合した商品、サービスの提供を行うことにより、売上高は93百万円となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ13億47百万円減少し、108億33百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金の減少7億73百万円と現金及び預金の減少4億43百万円によるものです。

負債の部は、前連結会計年度末に比べ13億19百万円減少し、77億1百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金の減少10億52百万円によるものです。

純資産の部は、前連結会計年度末に比べ27百万円減少し、31億31百万円となりました。これは主に、利益剰余金の減少20百万円によるものです。

この結果、自己資本比率は、28.3%となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、概ね予想通りに推移しており、現時点では、平成26年5月14日に公表いたしました通期の業績予想から修正を行っておりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。
  
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
  
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,462	1,018
受取手形及び売掛金	2,597	1,824
たな卸資産	2,476	2,447
その他	434	373
貸倒引当金	△15	△15
流動資産合計	6,955	5,648
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,545	1,522
土地	2,481	2,481
その他(純額)	83	83
有形固定資産合計	4,109	4,086
無形固定資産	22	21
投資その他の資産		
敷金及び保証金	948	932
その他	144	143
投資その他の資産合計	1,093	1,076
固定資産合計	5,225	5,184
資産合計	12,180	10,833

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,255	1,203
短期借入金	450	450
1年内返済予定の長期借入金	1,097	1,106
未払法人税等	154	7
賞与引当金	191	90
ポイント引当金	70	66
その他	980	1,141
流動負債合計	5,200	4,064
固定負債		
長期借入金	3,167	2,980
長期未払金	402	402
退職給付に係る負債	240	244
その他	9	9
固定負債合計	3,820	3,636
負債合計	9,021	7,701
純資産の部		
株主資本		
資本金	381	381
資本剰余金	406	406
利益剰余金	2,390	2,370
自己株式	△91	△91
株主資本合計	3,087	3,066
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△0	△0
その他の包括利益累計額合計	△0	△0
少数株主持分	72	64
純資産合計	3,159	3,131
負債純資産合計	12,180	10,833

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	6,060	5,983
売上原価	4,544	4,588
売上総利益	1,515	1,395
販売費及び一般管理費	1,483	1,319
営業利益	31	75
営業外収益		
受取利息	2	2
受取手数料	3	3
協賛金収入	0	4
その他	6	8
営業外収益合計	11	17
営業外費用		
支払利息	14	12
為替差損	14	-
その他	0	2
営業外費用合計	29	15
経常利益	13	77
特別損失		
固定資産除却損	13	-
特別損失合計	13	-
税金等調整前四半期純利益	0	77
法人税、住民税及び事業税	13	7
法人税等調整額	△23	33
法人税等合計	△9	41
少数株主損益調整前四半期純利益	10	36
少数株主利益又は少数株主損失(△)	0	△7
四半期純利益	10	43

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	10	36
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3	△0
その他の包括利益合計	3	△0
四半期包括利益	14	36
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	14	43
少数株主に係る四半期包括利益	0	△7

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。